

学部 / 看護専門領域 / 看護の基本

科目コード : 130025

## 診療補助技術論Ⅱ Medical care assistant Ⅱ

担当教員	木森 佳子、中嶋知世、瀬戸清華				
実務経験	複数の教員が担当しており、全員に病院勤務経験がある。				
開講年次	2年次後期	単位数	1	授業形態	演習
必修・選択	必修	時間数	30		
Keywords	診療・検査・治療の補助技術、療養生活、看護技術				
学習目的・目標	【学習目的】 正確な診療・検査・治療の補助技術と、対象のフィジカルアセスメント、療養生活を統合し、自立性・個性を踏まえた援助方法を評価できる。 【学習目標】 1. 生命維持、苦痛緩和の援助方法を理解し、実践することができる。 2. 診療や侵襲が伴う療養生活への援助方法を理解し、実践することができる。				
授業計画・内容					
回	内容				担当
1-2	呼吸・循環を整える技術① 1. 「循環」「呼吸」「体温」に関するアセスメントと援助方法				木森 瀬戸
3-4	呼吸・循環を整える技術② 2. 吸引、吸入、酸素療法、電法の援助方法				瀬戸
5-6	食事援助技術① 1. 摂食嚥下・消化機能のアセスメントと援助方法				木森
7-8	食事援助技術② 2. 経管栄養法の援助方法（経鼻、経腸、経静脈）				木森
9-10	排泄援助技術① 1. 排泄機能に関するアセスメントと援助方法				中嶋
11-12	排泄援助技術② 2. 浣腸、導尿、膀胱留置カテーテルの援助方法				中嶋
13-15	診療補助技術を含む看護実践 診療補助技術の適応事例と統合・連続する援助方法				木森
教科書	茂野香おる編：系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学技術Ⅰ・Ⅱ、医学書院 任和子、秋山智弥編：根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術、医学書院				
参考図書等					
評価指標	レポートや授業参加状況10%、筆記試験90%で評価する				
関連科目	解剖生理学、代謝と栄養、疾病・障害論、生活援助論Ⅰ・Ⅱ、基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ、フィジカルアセスメントⅠ・Ⅱ				
教員から学生へのメッセージ	診療・検査・治療は対象の生命維持と生活、そして自尊心が脅かされやすく、危険も伴います。基盤には対象への深い理解と正確で根拠のある実践、そして自立を目指した実践が求められています。				